

令和3年9月度
衛生委員会資料
産業医 上津 佳子

毎年9月24日から30日は結核予防週間です

厚生労働省では結核予防の推進を図るため、毎年9月24日から30日までを『結核予防週間』としています。

結核の早期発見、早期治療のために年に1度は結核検診で胸部レントゲン検査を受けて皆さんの肺が元気であることを確認しましょう。

結核とは、結核菌という細菌による慢性感染症です。患者のくしゃみや咳の際に排出された結核菌は微細な大きさのため、なかなか落下せず空気中を漂っています。この結核菌を吸い込んで感染します。多くの場合は免疫力で抑えられますが、吸い込んだ菌量が非常に多い場合や、免疫が低下している場合には『結核症』に進むこととなります。

昔の病気と思われがちですが、今でも年間1万5千人の新しい結核患者が発生し、約2千人が命を落としています。結核への関心が低下しているために発見が遅れる場合があり、集団感染の原因となっています。

結核について正しい知識を持ち、定期的に健診を受けて、咳が長引くときは診察を受ける等一人ひとりの意識と行動が感染拡大を防ぐためにも重要です。